

当行における地域密着型金融の  
20年度取組み実績および  
21年度推進計画



# 目次

## 当行における地域密着型金融

### 第 部

- 20年度取組み実績（概要） . . . . . 1～2 ページ
  
- 具体的な取組み実績
  - 1 ライフサイクルに応じたお取引先企業支援の一層の強化 . . . . . 3～4 ページ
  - 2 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底 . . . . . 5～6 ページ
  - 3 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 . . . . . 7～8 ページ

### 第 部

- 21年度推進計画 . . . . . 9～10 ページ

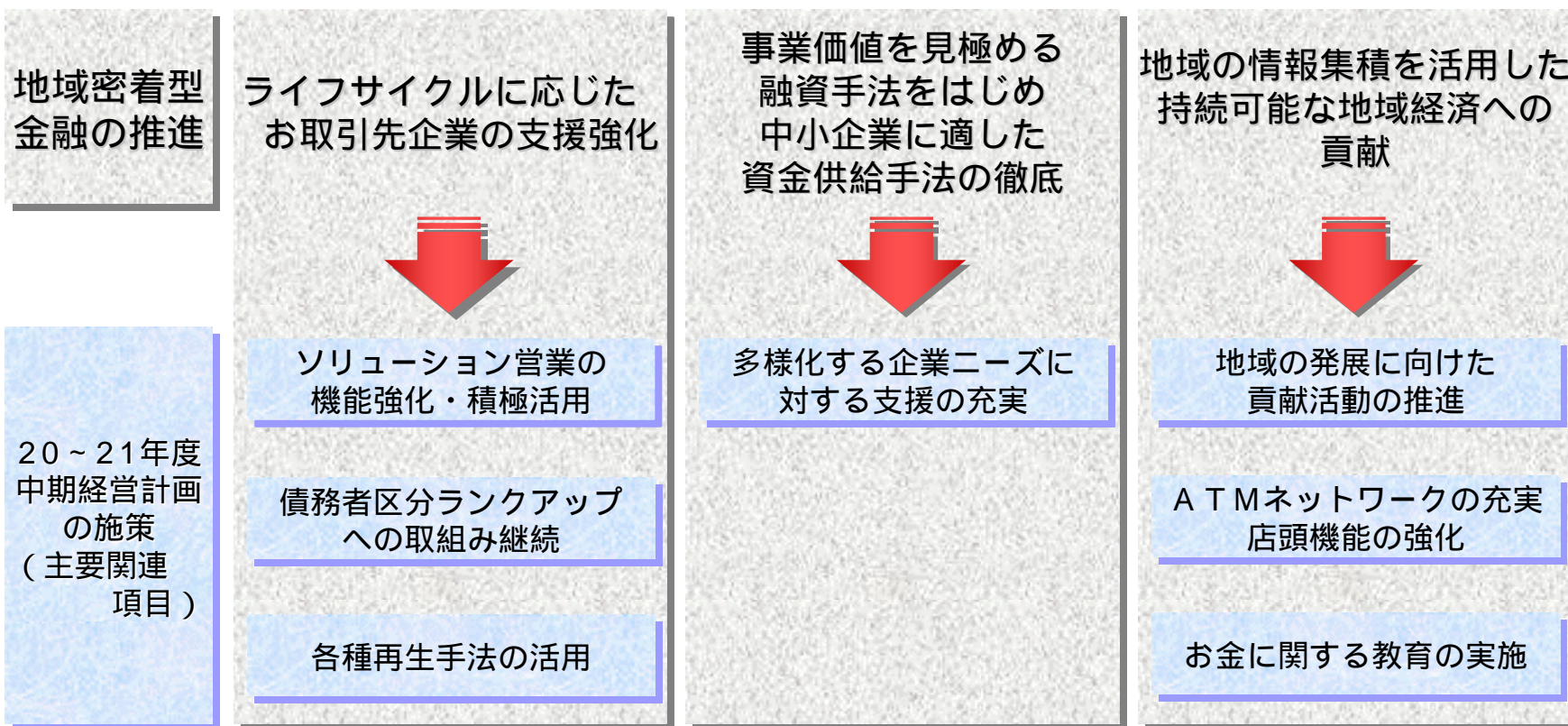
# 第 部 20年度取組み実績

## 20年度取組み実績（概要）

（20年4月～21年3月）

当行は目指す姿として「輝きと存在感を持って、お客様と地域から圧倒的に支持されるとともに、地域発展に貢献できる銀行」を掲げ、その第一段階となる中期経営計画「あきぎんEvolution <1st Stage>」を策定し、20年度から新たな取組みを開始しました。

地域密着型金融への取組みにつきましては、中期経営計画の各種施策に掲げており、これらを着実に実施することにより、積極的に推進しました。



## 20年度取組み実績（概要） （20年4月～21年3月）

地域密着型金融の3つの重点項目への取組み状況は以下のとおりです。

### ライフサイクルに応じた取引先企業支援の一層の強化

お客様の既存の販路拡大などに加え、地域経済の活性化につながるビジネスマッチングに積極的に取り組んだほか、貿易・海外進出や事業承継などに対する相談機能の強化を進めました。

また、財務内容に問題を抱えるお客様に対する経営改善・企業再生に向けた支援を実施しました。

### 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

財務情報のみならず、定性情報を含めた地域での情報を活かし、お客様の事業価値を見極めることで、動産を担保とする融資など新たな資金供給手法を活用しました。

また、不動産担保や第三者保証人を必要としない融資商品の利用拡大をはかったほか、原油価格対策や緊急経済対策の制度融資により中小企業の資金繰り安定化を支援しました。

### 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域力連携拠点である(財)あきた企業活性化センターの支援機関として協働して県内企業の支援に取り組みました。

また、ATMネットワークの拡充や店頭機能の強化を進め、個人のお客様の利便性向上をはかったほか、地域の次代を担う子どもたちに対するお金に関する教育も継続して実施しました。

これらの具体的な取組み状況につきましては、次ページ以降をご覧ください。

また、これらに取組んだ結果、20年度に掲げた地域密着金融に関する5つの数値目標につきましては、4項目を達成しました。

5つの数値目標

	目 標	実 績	目標 達成率
ビジネスマッチング機会のご提供件数	400先	514先	128.5%
債務者区分ランクアップ先数	20先	35先	175.0%
不動産担保・第三者保証人を必要としない商品の取扱件数	700件	535件	76.4%
「資産運用相談コーナー」の新設店舗数	20か店	20か店	100.0%
お金に関する教育の実施校数	9校	10校	111.1%



## 《具体的な取組み実績》

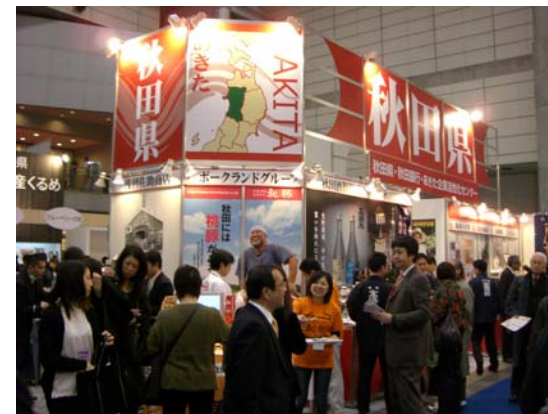
# 1 ライフサイクルに応じたお取引先企業支援の一層の強化

## ◎ お取引先企業の成長段階に応じた支援

### ➤ ビジネスマッチング機会のご提供

商談会の開催や個別の商談の仲介によるビジネスマッチング機会のご提供件数は、514件（計画400件）となりました。

20年度は新たな取組みとして、3月に幕張メッセ（千葉県）で開催された食の大規模商談イベント「FOODEX JAPAN 2009」に行政と共同で秋田県ブースを設置し、首都圏への販路拡大を目指す企業の出展を支援したほか、県内外の流通業者との「個別商談」を実施し、食品加工・製造業者等に対する商談の仲介を強化しました。



### ➤ 海外進出・貿易取引に関する支援体制の強化

三菱東京UFJ銀行および三菱UFJリサーチ&コンサルティングと国際業務分野に関する業務提携を締結し、お取引先の海外進出や海外マーケット戦略のサポート、対外信用調査をはじめとする貿易取引に関わる情報提供などのバックアップ体制を強化しました。

ご相談にお応えしたことで、お取引先が新たな輸出相手先への出荷を実現するなどの成果がありました。

### ➤ 事業承継支援

あきた企業活性化センターおよび中小企業基盤整備機構との連携を活用し、中小企業経営者を対象とした「事業承継セミナー」を県内4か所で共催しました。

また、このセミナーをきっかけとし、事業承継を検討しているお取引先に対し、具体的なアドバイスを行いました。

### ➤ 創業・新事業支援

創業や新事業進出を検討されるお取引先に対して、営業店と本部が一体となり、事業性評価、資金調達、補助金の活用などに関する情報提供・アドバイスをはじめとした各種支援を実施しました。

なお、創業支援に関する融資商品の取扱実績は、30件・約2億円となりました。

《具体的な取組み実績》

# 1 ライフサイクルに応じたお取引先企業支援の一層の強化

## ➤ 経営内容の改善

経営内容に課題を抱えるお取引先の改善計画策定のサポートおよび計画進捗状況のモニタリングなどの活動を通じて、債務者区分ランクアップ（＝経営内容の改善）に取り組みました。

20年度債務者区分ランクアップ先数は、**35先**（計画20先）となりました。

## ◎ 事業再生支援

### ➤ 整理回収機構（RCC）、中小企業再生支援協議会などを利用した事業再生支援

事業再生については、審査部「企業経営支援室」が中心となり、営業店やお取引先企業と協力して取り組んでおります。また、必要に応じて外部機関を活用することにより、再生の実現性を高めております。

20年度はお取引先3社がRCCや中小企業再生支援協議会を活用し、再生計画を策定しました。

経営改善支援等への取組状況

【20年4月～21年3月】

（単位：先数）

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援 取組み先 α	αのうち			経営改善支援 取組み率 = α/A	ランクアップ率 = β/α	再生計画 策定率 = δ/α	
			αのうち期末に 債務者区分が ランクアップし た先数 β	αのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった 先 γ	αのうち再生計 画を策定した先 数 δ				
正常先 ①	12,395	5		4	0	0.04%		0.00%	
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	1,907	143	24	101	19	7.50%	16.78%	13.29%
	うち要管理先 ③	69	7	6	1	6	10.14%	85.71%	85.71%
破綻懸念先 ④	525	49	4	38	9	9.33%	8.16%	18.37%	
実質破綻先 ⑤	241	7	1	5	0	2.90%	14.29%	0.00%	
破綻先 ⑥	102	1	0	1	0	0.98%	0.00%	0.00%	
小計(②～⑥の計)	2,844	207	<b>35</b>	146	34	<b>7.28%</b>	<b>16.91%</b>	<b>16.43%</b>	
合計	15,239	212	<b>35</b>	150	34	1.39%	16.51%	16.04%	

## 2 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

### ◎ 不動産担保・第三者保証人を必要としない融資商品の推進

#### ➡ 不動産担保・第三者保証人を必要としない融資商品の取扱件数合計

不動産担保・第三者保証人を必要としない融資商品の取扱件数合計（ + + ）は、**535件**（計画700件）と目標未達成となりました。これは、既存の融資商品より金利等の借入条件が有利な原油価格対策や緊急経済対策の制度融資<sup>(注)</sup>が期中に導入され、お取引先の資金調達にあたって、これらの利用をお勧めしたことが影響しております。

しかしながら、動産担保融資（ABL）の商品や行内体制の整備を進めるなど、当行における不動産担保や第三者保証人に過度に依存しない融資手法は確実に定着しております。

（注）「秋田県経営安定資金（原油価格対策）」および「秋田県経営安定資金（緊急経済対策枠）」は、不動産担保・第三者保証人不要であり、この取扱件数を含めた取扱合計は、**1,993件**となります。

#### ➤ 動産担保融資（ABL）の推進・体制整備

お取引先が保有する在庫・債権を担保とした資金のご提供を、信用保証協会の「流動資産担保融資保証制度」などを活用し、推進しました。

また、機械設備等を担保とする「＜あきぎん＞機械活用ローン」（21年2月～）を新たに商品ラインアップに加えたほか、車両等を担保とする「＜あきぎん＞車両活用ローン」（21年4月～）の取扱準備、様々な在庫を担保として資金をご提供できる行内体制の整備を進めました。

20年4月～21年3月 実績		21年3月末 残高	
27件…①	481百万円	4件	286百万円

※当貸扱いの4件を含む



## 《具体的な取組み実績》

# 2 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

### ➤ 財務制限特約条項（コベナンツ）付融資の推進

一定の財務指標要件維持などの取り決め事項（コベナンツ）を定めた上で、これを条件として担保や第三者保証人を必要としない固定金利の事業資金をご提供しました。

20年4月～21年3月 実績		21年3月末 残高	
12件…②	710百万円	118件	6,625百万円

### ➤ その他の担保や第三者保証人を必要としない融資商品の実績

当行独自の審査方法や信用保証協会との提携などにより、不動産担保や第三者保証人を必要としない事業資金の提供を進めました。

20年4月～21年3月 実績		21年3月末 残高	
496件…③	9,084百万円	1,254件	18,206百万円

### ＜参考＞原油価格対策や緊急経済対策の制度融資取扱状況

中小企業の資金繰り安定化に寄与する観点から、県の制度資金である「秋田県経営安定資金（原油価格対策型）」および「秋田県経営安定資金（緊急経済対策枠）」の積極的な支援に取り組みました。

この結果、これら2つの制度資金では、件数・金額とも県内金融機関で最多の取扱いとなっております。

20年9月～21年3月 実績		
1,458件	28,900百万円	県内シェア:43.4%

※取扱期間

「秋田県金融安定資金（原油対策型）」:20年9月～21年1月

「秋田県金融安定資金（緊急経済対策枠）」:21年1月～

## 《具体的な取組み実績》

### 3 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

#### ◎ 地域活性化に向けた貢献活動の推進

##### ➤ 各種組織・団体の地域活性化に向けた取組みへの協力

あきた企業活性化センターは、20年5月に経済産業省から「地域力連携拠点」に指定されており、当行はそのパートナー機関として、事業承継支援をはじめとする事業に協働して取組み、地元企業および地域の活性化に協力しました。

##### ➤ 秋田県経済の活性化に向けた提言の実施

秋田経済研究所と協力し、地域経済の活性化に資する提言の実施準備を進めました。  
なお、提言は21年度に実施する予定です。

##### ➤ 中小企業金融円滑化に向けた「相談窓口」および住宅ローン返済に関する「相談窓口」の設置

急激な景気の後退を踏まえ、中小企業向け融資に関してご相談いただける窓口を20年12月に設置しました。また、勤務先等の事情により収入が減少し住宅ローンの支払に支障をきたしているお客様が、ご返済計画の見直しに関してご相談いただける窓口につきましても、21年2月から設置しております。  
なお、住宅ローン返済に関する相談窓口は、21年度も設置を継続します。

#### ◎ ATMネットワーク拡充、店頭機能の強化などによるお客様利便性向上

##### ➤ ATMネットワークの拡充

ATMの新設などにより当行独自のネットワーク拡充を進めたほか、20年6月には県内3信金・1信組との間で他金融機関利用時の利用手数料を相互に無料化する「秋田あったかネット」を開始しました。「秋田あったかネット」については、21年1月から、JAバンクあきた（県内16JA）とも提携を拡大しております。

また、20年10月からローソン・エイティエム・ネットワークスおよびイーネットとの提携を開始したことにより、県内のローソン104か店やファミリーマート40か店(注)でコンビニATMの利用が可能となりました。(注)店舗数は21年4月末現在

このほか、東邦銀行とも20年11月からATM利用手数料の相互無料化を開始しております。



## 《具体的な取り組み実績》

### 3 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

#### ➤ 「資産運用相談コーナー」の設置

当行では、お客様のプライバシーを守るとともに、安心してご相談いただけるよう「資産運用相談コーナー」を20か店（計画20か店）に設置しました。

21年3月末時点での「資産運用相談コーナー」設置店舗は、50か店となっております。

#### ◎ お金に関する教育の実施

#### ➤ 小・中学校等での授業の実施

当行では、平成17年から「お金のはたらき」や「経済のしくみ」をカリキュラムとする小・中学校等での授業に取り組んでおります。

20年度は10校（計画9校）で授業を実施し、当行職員が講師として教壇に立ち、地域の次代を担う子どもたちの育成・支援に努めました。

#### ➤ 夏休み「親子向けイベント」開催

地域の子どもたちに楽しみながら「お金のはたらきや大切さ」を学んでいただくため、夏休みを利用した親子参加型のイベントとして「親子でチャレンジ！あきぎんワクワク探検隊」を開催しました。

当日は、54組の親子にご参加いただき、ゲームやクイズ、お札の勘定の体験などを通じて、お金に関する理解を深めていただきました。

また、当行では、「全国高校生金融経済クイズ選手権 エコノミクス甲子園（秋田大会）」を金融知力普及協会と共催し、高校生に楽しみながら金融経済を学ぶきっかけを提供しております。



# 第 部 2 1 年度推進計画

## 21年度推進計画 (21年4月～22年3月)

中期経営計画の最終年度となる21年度(21年4月～22年3月)は、これまでの取組みを継続・発展させるとともに、環境の変化に対応した新たな施策を展開することにより、お客様のニーズや地域の期待にのり的確にお応えできるよう、地域密着型金融の推進を一層強化します。

また、当行は平成21年5月9日に創業130周年を迎えたことから、お客様と地域の皆さまに感謝の意を表すため、地域社会への貢献にも取り組んでまいります。

### ◎ ライフサイクルに応じたお取引先企業の支援強化

#### ○ お取引先企業の成長段階に応じた支援を強化します。

👉 お取引先企業の企業力向上、当行の提案力向上、これらによる地域力向上の実現を目指し、営業店と本部が協力し、販路拡大などのビジネスマッチング、新規事業展開、海外進出や貿易取引などお客様のニーズに応える各種ソリューション支援を強化します。

	21年度の目標
ビジネスマッチング機会のご提供件数	400件

#### ○ 経営内容の改善・再生支援に取り組めます。

👉 財務内容に問題を抱えるお取引先企業に対して、経営内容の改善や事業再生を支援し、お取引先企業のみならず、雇用をはじめとした地域経済の維持・発展に貢献します。また、お取引先企業の財務面の問題が深刻化する前に、これを解消するための相談・支援に取り組めます。

	21年度の目標
債務者区分 ランクアップ 先数	20先

### ◎ 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

#### ○ 不動産担保や個人保証に過度に依存することなく、事業価値を見極める融資手法の拡充を進めます。

👉 様々な動産を担保として資金をご提供できる体制の整備を進めるとともに、利用拡大をはかります。  
この他にも、多様な資金調達ニーズにお応えするため、私募債やファクタリングなどの資金供給手法を積極的に活用します。



## 21年度推進計画 (21年4月～22年3月)

### ◎ 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

#### ○ 地域活性化に資する活動を推進します。

☞ 行政や提携機関との連携を強化し、経営相談会の開催など地域活性化に資する各種支援活動を推進します。

秋田経済研究所と協力し、地域経済の活性化に資する提言を行います。

また、勤務先等の事情により収入が減少し、住宅ローンの支払に支障をきたしているお客様に対するご相談にも、継続して取り組みます。

	21年度の目標
行政・提携機関との連携による支援実施件数	12件

#### ○ お金に関する教育に引き続き取り組みます。

☞ 小・中学校での当行行員による授業の継続や楽しみながらお金や経済に関する知識を身に付けてもらえるイベントを開催します。

	21年度の目標
お金に関する教育の実施校数	10校

#### ○ 創業130周年記念事業を実施し、地域社会へ貢献します。

☞ 当行が130年にわたり営業を続けてこられましたのは、ひとえにお客様と地域の皆様のあたたかいご支援の賜物であり、下記の記念事業の実施を通じ、感謝の意を表してまいります。

<実施を予定している主な記念事業>  
地区別記念授業、「環境保護ポスター」の募集、植栽事業、記念講演会、記念スポーツ教室、記念コンサート、全行献血運動、女子事務服の改定

130<sup>th</sup>  
anniversary

おかげさまで130周年